

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
作業療法演習Ⅲ		必修	1	4	前期 (集中)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
稲場 直子 他	C303	naoko.inaba	水曜日 13:00~15:00 Teams 受付を原則とする		
授業の目的・概要	本科目では、主に基礎医学を中心にこれまでに学習してきたすべての学習項目の要点を整理・復習し、作業療法学というマクロ的視点で知識を総合的に体系化することを目的とする。				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	授業の進行や試験関連の連絡等については、すべて Teams を介して行う。 本科目では問題解決型学習に基づくアクティブラーニングを実施する。したがって、各学生の主体的かつ積極的な学習姿勢を重視・期待する。学習過程で疑問が生じた場合は、Teams などを通じて随時担任および各専門分野の教員に質問し、早めに解決すること。				
教科書	これまでに使用した教科書				
参考書	これまでに使用した配布プリント				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	基礎医学全般の基本的知識を総合的に理解する。			HSU(1)~(5)、OT(1)~(3)	
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション	同時双方向型授業	シラバスを確認する	—	
2	① 「解剖学」に関する小テストを受験し重要項目を発見する		提示された課題を提出する	1	
3	② ①の結果に基づき各自で学習目標・学習計画を立てる		提示された課題を提出する	1	
4	③ ②に基づき、担任や専門分野の教員の指導のもと自主学習を行い、「解剖学」を中心とする基礎医学全般の知識を作業療法学というマクロ的視点で総合的に体系化する	自主学習型授業	各自で立てた学習目標・学習計画に基づき、「解剖学」の各項目について学習し、課題を提出する	3	
5				3	
6				3	
7				3	
8	自宅学習の成果について、「解剖学」の確認テストを受験する	同時双方向型授業	提示された課題を提出する	1	
9	④ 「生理学」に関する小テストを受験し重要項目を発見する		提示された課題を提出する	1	
10	⑤ ④の結果に基づき各自で学習目標・学習計画を立てる		提示された課題を提出する	1	
11	⑦ ⑤に基づき、担任や専門分野の教員の指導のもと自主学習を行い、「生理学」を中心とする基礎医学全般の知識を作業療法学というマクロ的視点で総合的に体系化する	自主学習型授業	各自で立てた学習目標・学習計画に基づき、「生理学」の各項目について学習し、課題を提出する	3	
12				3	
13				3	
14				3	
15	自宅学習の成果について、「生理学」の確認テストを受験する	同時双方向型授業	提示された課題を提出する	1	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照				

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科/旧カリキュラム】

総合評価割合(%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		100	0	0	0	0	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	100	0	0	0	0	100	
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0	
評価のポイント		評価の実施方法と注意点					フィードバックの方法	
評価方法	行動目標							
試験	①	✓	定期試験を実施して評価する。評価割合 100%とする。試験では「解剖学」「生理学」を中心とする基礎医学全般の知識について、授業中に取り組んだ課題や小テスト等の内容に基づく応用問題を出題し、理解度を問う。					試験結果の返却とともに、正解を提示する。
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	志茂 聡							
教員の実務経験	担当教員は生理学・解剖学で博士号（医学）を取得している。							
実践的授業の内容	専門性を生かして学生に「根拠に基づく医療」の実践に必要な基礎医学全般の基礎的知識および論理的思考力を教授する。							
そ の 他	本科目は Teams を使った同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意すること。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によってシラバスが変更される可能性がある。							